


2019～2020 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

●会長 内田 信行

●幹事 中島 祐爾

 No.1684 令和 01 年 11 月 20 日 第 18 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ソング「きよしこの夜」「ジングルベル」

(ソングリーダー 鷺山法雲)

■来訪者紹介

(会長 内田信行)

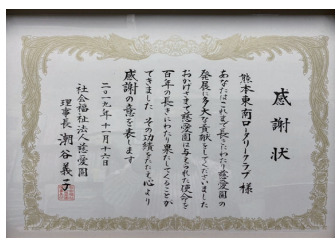


熊本江南 R C 千原竹雄 君

■会長の時間

(会長 内田信行)

11 月 16 日慈愛園の 100 周年記念式典、午後より交流会がありました。皆様には潮谷さんより、100 周年記念誌、又、慈愛園 100 年の継承の冊子がプレゼントされるとお思いますので読んで頂ければと思います。



式典で 46 名の個人、企業の方に感謝状贈呈式があり、東南ロータリークラブにも感謝状をいただきました。

記念講演が日本社会事業大学学長 / 東京大学名誉教授の神野直彦さんでありました。全部紹介

する事出来ませんが、『分かち合い』の心=慈愛の心 (1) 『子供の歌』に学ぶ 子供ドロシー・ロー・ノルト

批判ばかりされた子どもは、非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは、力にたよることをおぼえる
笑いものにされた子どもは、ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心のもちぬしとなる

しかし、激励をうけた子どもは自信をおぼえる
寛容にであった子どもは忍耐をおぼえる
賞賛をうけた子どもは評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは公正をおぼえる
友情を知る子どもは、親切をおぼえる

安心を経験した子どもは、信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは、世界中の愛情を感じる事をおぼえる

今日は、年次総会となっております。年次総会とは熊本東南ロータリークラブ細則第 5 条 会合

第 3 節本クラブの年次総会を 11 月第 3 例会に開催し、そこで次年度の役委員、理事の選挙および現年度の収入と支出を含む中間報告、前年度の財務報告を発表する。

となっておりますが、今日は、永野さんが休みなので次週にお願いしております。

■幹事報告

(幹事 中島祐爾)



1) 熊本西稜 R C より、創立 30 周年記念・チャリティーゴルフ大会参加のお礼。

2) 熊本江南 R C より、創立 50 周年記念式典・祝賀会の案内。
日 時 2020 年 2 月 8 日 (土) 16:30～19:30
場 所 ニューオータニホテルズ ザ・ニューホテル熊本
登録料 8,000 円 (立食形式)

3) マイロータリー登録数奨励クラブ表彰
2019-2020 年度登録数に対して表彰状が届いています。

■ご案内

(熊本江南 R C 千原竹雄 会員)

熊本江南 R C 創立 50 周年記念式典・祝賀会
2020 年 2 月 8 日 (土)
ザ・ニューホテル熊本



■委員会報告

(青少年奉仕担当 宮川義行)

1 月 8 日中津文化会館での地区大会に合わせて米山奨学生カウンセラー報告会が行われました。米山奨学生が他クラブに卓話に行く意義について活発な意見交換が行われました。1 つでも多く



のクラブが日本と世界の懸け橋となる米山奨学生を受け入れてくれるようにと、今回は全クラブに米山卓話を行っています。ディスカッションでは飛び入りで参加された小畑会員がほとんど1人で喋っていました。皆さん感心していました。大ホールではアクトの活躍の報告がされていました。

11月13日は熊本菊南RCの例会に李靖清さんの卓話で松岡歩紗実さんと一緒にお邪魔しました。今回で4ヶ所目。分かり易い卓話でした。皆さん楽しく嬉しそうに話してくれました。奨学生を受け入れることはクラブにとっても有意義に働いていることを教えてもらいました。

昨日は中央公民館でアクト例会でした。公害についての卓話を桜井君が行い、新会員の今井君も参加、沼田さんと私も参加しました。第2例会は21日に西部ガスで行われます。城東、北、南、東南アクトの合同例会です。参加出来る方はよろしくお祈りします。

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報委員 鈴木義親)



本日11月20日の例会はクラブの年次総会となっております。年次総会は来期の役員を選挙するための総会であり、細則の定めるところにより毎年12月31日までに開催しなければならないとしております。

当クラブでは細則の定めにより11月の第三例会日を総会の日としております。

年次総会は三分の一の会員出席で出席者の三分の二で決定されます。

2019年度は三年に一度の国際ロータリーの規定審議会が開かれ定款の一部改正に伴いクラブ細則も見直しが必要となりました。

- (1) クラブ細則の一部改正の承認 (11月6日例会で説明済み)
- (2) 次々年度会長、副会長、幹事、会計、会場監督、理事7名の承認。(指名委員会で指名)



■出席報告

(出席・プログラム担当委員 松岡泰光)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
11月06日	45 (免3) 42	31	5	36	85.71
11月20日	45 (免3) 42	30			71.42

☆新入会

☆退会

☆出席免除

11月06日 住江正治 島村徹男 古庄浩二

11月20日 志賀重人 住江正治 島村徹男

☆欠席者(6名)

11月06日 岡本千代門 小松野正彦 渡邊一弘 山本浩之
山坂哲生 矢野敬之

今度の100%出席の日は 11月27日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当 杉本整哉)



◎千原竹雄 君 1,000円 (熊本江南RC)



クラブ創立50周年の式典・祝賀会のご案内に参りました。よろしくお祈りいたします。

◎潮谷愛一 10,000円



慈愛園100周年お世話になりました。記念誌をお持ち帰り下さい。暇な時読んで下されば幸いです。

◎小畑成司 10,000円



明日から南フランス、帰ってすぐアメリカ西海岸へ参りますのでポリオ根絶街頭募金と新会員 矢野さんの歓迎会に参加できません。お詫びにスマイルします。ごめんなさい。

◎宮川義行 6,000円



11月16日慈愛園100周年記念大会に内田会長、福井次年度幹事、横山会員と共に参加しました。潮谷愛一会員から常日頃聞かせて頂いている慈愛園の歴史と社会的役割を詳しく知ることが出来、大変有意義でした。個人的には、子供防犯スポーツ教室やビジネスグループBNIの研修やパーティーでご協力を頂いてきました。ありがとうございます。11月13日、先週の水曜日は熊本菊南ロータリークラブの例会に参加、李靖清さんの卓話を通じてメンバーの皆さん全員と名刺交換できました。米山卓話も1月21日の熊本東RCを残すだけになりました。靖清さんにとっていい思い出になってくれればいいなと願っています。

◎内田信行 5,000円



千原竹雄さんの御来訪を歓迎いたします。19日、慈愛園創立100周年記念おめでとうございます。熊本東南RCにも感謝状を頂きました。又、交流会まで参加させて頂きありがとうございました。感謝を込めてスマイルします。

◎沼田敏雄 5,000円



17日(日)阿蘇パティオ乗馬へ行き(子供、孫を連れて)美味しい空気を吸いに行ったのですが、美味しいどころか、阿蘇山の火山灰で大変でした！でも孫達は楽しんで帰ってくれました。

◎出先教明 5,000円



久しぶりにクラブの例会に出席出来ました。10月の誕生日プレゼント、ゴルフコンペの賞金ありがとうございました。スマイルさせていただきます。

◎松本繁 3,000円



親愛なる熊本江南RCの千原竹雄さんの御来訪を歓迎しスマイルいたします。

◎松岡歩紗実 2,000円



来週はいよいよ卓話でお話をさせていただきます。入会してすでに1年が経過してしまいましたが、今まで何度も日程の調整のお手間をかけてしまい申し訳ございませんでした。私の知られざる部分も赤裸々にお話ししますのでどうぞ宜しくお願いします。

■年次総会

(会長 内田信行)

- ・2020-2021 年度役員理事
- ・クラブ細則改正決議

会長 松本 一也

直前会長(奉仕プロジェクト委員長) 内田 信行

会長エレクト(会員増強委員長) 吉田 嘉昭

副会長(クラブ管理運営委員長) 山田 公也

幹事 福井 学

会計 永野 昭一

S A A 松岡 泰光

理事(公共イメージ委員長) 白石 繁

理事(ロータリー財団委員長) 村瀬 直久

理事 佐野 茂

理事 鈴木 義親

理事 前田日出夫

理事 中島 祐爾

理事 緒方 公一

■点鐘

編集者 沼田敏雄

■今後の予定

11月	11月23(土)	地区会員増強部門・ 新進気鋭会員セミナー	熊本県 熊本市	熊本市流通情報会館
		松本一也、杉本整哉、松岡歩紗実		
	11月30(土)	職業奉仕研修 セミナー	大分県 中津市	中津市教育福祉センター

元 RI 会長が語る日韓ロータリーの強いきずな

投稿日: 11月1, 2019

提供: 日韓親善委員会



李 東建 2008-09 年度 RI 会長

【注記: 以下は、2019年9月28日に仙台で開催された第15回ロータリー日韓親善会議での、李東建(D.K. Lee)元RI会長による挨拶です】

皆さん、こんにちは!

ここ、うつくしき杜の都で、ロータリアンの皆様にお会いできたことを心から嬉しく思います。そして、感無量です。

韓国と日本は、一衣帯水ということばでよく言い表されます。一端の水路に向かい合い、隣りあう両国の関係を意味する言葉です。宿世の縁とも言うべき韓国と日本の関係をよく表してくれる言葉であると思います。つまり、この土地に人が暮らしはじめた大昔の時から、私達は隣同士だったのです。長い歲月、隣同士として生を営んでまいりました。当然いいこともあれば、困ったことも多くあるのは当たり前です。

大陸の先進文物は韓半島を通じて日本に流入されましたし、海洋の文物は日本を通じて韓半島に入ってきました。そもそもインドで始まった仏教が、韓国を経て日本に伝えられたこともその一例です。仏教がそうであったごとく、奉仕を重んじるロータリー精神は、国境も人種も、いかなる思想をも超越します。今この瞬間にも、世界の奥地のところどころはもちろん、危険な紛争地域で、私達の同僚の多くのロータリアンがきれいな水を供給するために、そしてポリオ撲滅や疾病退治のために、己の安全を振り返らないまま奉仕活動に全力を注いでいます。これぞロータリー精神なのです。

最近、韓国と日本の政治的状況は大変緊張が高まっており、さぞみなさんも心配しておられることと思います。しかし、にもかかわらず、今日、このように韓国と日本両国のロータリー指導者たちが、私達の未来を共に図り、話し合っております。これこそ人類愛に基づいた崇高なロータリー精神の具現といえましょう。

私が国際ロータリーの会長を務めておりました折には、日本のロータリアンたちに大変お世話になっておりました。あの時のことを今もよく覚えております。日本のロータリアンにはすばらしいロータリアンが実に大勢いらっしゃいます。私が心から尊敬している多くの方々の中で、とりわけ、邦昭(くにあき)パストガバナーのことを挙げないわけにはまいりません。私は今、邦昭パストガバナーの評伝を韓国語で翻訳し、出版する作業を進めております。「少年皇族の目に映った戦争」というタイトルの本です。このようなこと一つ一つが集まって、韓国と日本、日本と韓国、お互いの民間同士の理解を深めることにつながり、大いに役立ってくれることと信じています。

国際ロータリーにおいてアジアの役割ははなはだ重要です。ロータリー運動の大きな波がアジアに押し寄せています。日本と韓国は、まさに、このような大きな波の中心にいます。来年は日本のロータリーが100周年を迎える年です。韓国には、日本より7年遅れてロータリーが入っています。もはや、日本と韓国を除いてはロータリーを考えられません。つまり、私達は世界のロータリーを率いる指導者なのです。今日ここに集まっている私達はその主役になり、頑張らなければならないのです。

親愛なるロータリアンの皆様

世界の歴史は、様々な世の波風に揉まれても、それがいかに過酷でも、究極のところ、善意の持ち主たちによってその精神的伝統が守られてきていることを、私たちはよくわかっています。いかに厳しく、苦しい時代でも、世を照らす明かりをともし人がいま

した。今日ここに集まった私達が、ロータリー精神という名の人類愛の明かりを世に広くともそうではありませんか。それでもって、人間スピリットの勝利を堂々と世に証明して見せようではありませんか。

最後になりますが、私達韓国と日本、日本と韓国、両国のロータリアンが力を合わせて、世界のロータリー運動のよいお手本になることを訴えながら、皆様のご健康とご多幸を祈願いたします。ありがとうございました。

活動の原点 ～みんなの一步が大きなパワー～

投稿日：9月22, 2017

寄稿者：山田弘樹（やまだ こうき）（名古屋熱田ロータリークラブ直前会長）

雲ひとつない晴天の初夏、名古屋の金山駅前では声を張り上げていました。



「日本に滞在する難民の支援のため、ご協力お願いいたします！」

この日は、日本に逃れてきた難民を支える寄付金を集めるため、NPO 法人名古屋難民支援室の方と

共同で募金活動を行っていました。

企画が立ち上がったとき、難民の「な」の文字さえ思い浮かびませんでした。私たちには漠然と「なにか国際問題に取り組みたい」という思いがあり、たびたびファミリーレストランに集まっては、身の回りで起きている社会問題について語り合っていました。メディアは世界情勢を頻りに報道していたこともあり、メンバー同士で「日本は平和だね」という流れから「海外は平和じゃないね!？」という問題意識が芽生えました。

そんなとき、偶然にも難民支援の地元 NPO と繋がる機会が 2 あり、代表の方と難民の方を例会に招待してお話いただきました。そこで、日本に逃れてくる難民の悲惨な実態を目の当たりにしたのです。



私たちはすぐに行動し、NPO やロータリークラブ等の協力を得て、難民を支える募金活動を始めました。また、さらに大事な目的として、支えを必要とする難民が日本にもいるということの周知に取り組みました。皆さんが学校や会社から家に帰って、あたたかい夕食を食べることができる一方、そうでない状況がこの世界にあります。

時変わり、私たちは胸を高鳴らせながら、異国の地を踏みしめていました。

国内で難民支援の国際奉仕活動を行う一方で、海外に関心のある私たちは、「みんなと海外旅行にいけたらいいよね!」という些細な一言をきっかけに、台湾での活動をかたちにしました。台湾にローターアクターの知り合いがいるメンバーを通じてコンタクトした結果、先方も会おうと言ってくれました。



せっかく出会って観光するだけでは勿体なかったのも、彼らの奉仕活動 5 に参加させてもらいました。内容は、孤独死を防止するための募金活動。台湾は将来的に、高齢化のペースが世界一になるのだそうです。海外での募金はハードルが高そうだと思っていました。ただ、日本で、みんな一緒に募金活動の掛け声をする等、クラブメンバー一丸となってやってきた経験から勇気を得て実行できました。

また、台湾の募金活動は、お金ではなく買い物時のレシートの裏についてくる宝くじを集めるという方法であり、二国間の募金活動の違いも知ることができました。懇親会では、台湾の伝統料理でもてなしていただき、日本では味わえない、異国ならではの風土と匂いを感じることができました。

帰国後、台湾の国内ニーズに合った活動を体験して、地元のニーズに合った奉仕活動もまた重要であると感じました。今年度は愛知県の交通事故ワースト 1 脱却を目指した活動を行っております。今年度の活動も、過去の活動も、私たち名古屋熱田ロータリークラブメンバーの「気づき」や「きっかけ」が原点です。今、あなたが何気なく感じる疑問にも、奉仕活動の出発点があるかもしれない。



ロータリーボイス <https://rotaryblogja.wordpress.com/>

ロータリーボイス

世界で行動する人びとの体験談とストーリー

